

# 【KSKQ】 2018年1月号 No.194 あいえるらくがき帳



## 謹賀新年



○障害者も地域で元気に生き抜こう！	2 P
○そう！どんどん繋がりを作っていくの	3 P
○地域での暮らし～最終章～	4-5 P
○おめで10！ありが10！	6-7 P
○ GANE 雅訪問記 第19弾 粉浜作業指導所編	8-11 P
○輝けいのち！～フラッシュ・モブ～	12 P
○どいさんぽ in 東京	13 P
○ビールとルール	14 P
○求人～地域でつなげる介助の輪～	15 P
○みんなの住んでいる地域を知ろう！	16-17 P

あいえる協会のホームページ

<http://aiel.or.jp/>

あいえる協会	検索
--------	----



こちらの QR コードからも  
アクセスできます

# 障害者も地域で元気に生き抜こう！！

新年あけましておめでとうございます。

昨年、北朝鮮問題でミサイルが日本の上空を飛んだり、緊急速報のJアラートが何度も発令され、障害者の私達もとても不安な年でした。この不安な社会状況は今年も続くかも知れないと危機感を感じている人は障害者だけでは勿論無いはず。もし戦争になれば、いの一に障害者はやはり厄介者、役立たずとして施設送りや抹殺された歴史がよみがえりそうです。

そして、2年前に起こった相模原市の入所施設での重度障害者殺傷事件で明らかになった障害者差別や優生思想も、社会には根強く残っています。

そんな不安な社会、障害者の存在を平等に認めようとしなさい、この地域社会を変えていくために、私達は何をしていけばよいのでしょうか？どんな声を上げ行動していけばいいのでしょうか！？

その一つの答えとしては、やはり相模原事件で亡くなられた19名の方々の事を忘れず、いつまでもこの社会に、この事件のことを伝えていくことが大事です。重度障害者でも入所施設ではなく地域社会でいきいきと暮らしていることを色々な形で、この社会にアピールし伝えていくことだと思えます。

その一環として、相模原事件にちなんだ「19の軌跡」の歌と振り付けで「フラッシュ・モブ」を行いました。このフラッシュ・モブの歌や踊りは、言葉ではない表現方法なので、コミュニケーションが苦手な障害者でも楽しくアピール出来たようです。

昨年は、私達の法人が運営する日中活動の場であるライフ・ネットワークが10周年を迎え、その記念イベントを無事終えることが出来ました。また、長居小学校の下课時の見守り隊も3年目を迎えましたし、日中活動の場ウィルでは、毎月一回の「カフェ・ぬくぬく」も継続で地域の人たちの常連客も増えているようですし、商店街の賑わい祭りなどにも参加して、地域にとけ込んでいった1年だったと思えます。

今年もこのような活動を継続し、どんなに重度な障害者でも入所施設ではなく、地域でその人らしい自立生活を実現出来るような活動を模索し、実行していきたいと思えます。

皆様、どうぞ今年も宜しく願います！



# ☆そう！どんどん繋がりを作っていくの☆

## ～あびこ道商店街にぎわい祭り参加報告～



11月26日ウィルのすぐ近くにあるあびこ道商店街にてにぎわい祭りが行われました。

にぎわい祭りの参加は昨年に引き続き2回目の参加になります。

去年は「トイレ貸します」としてウィルを開放しましたが、今回は…「ウィルさんも楽しい出し物お願いします」とうれしいオファーが！祭りの実行委員の会議にも参加しました。

ライフ・ネットワークの手作り製品を商店街内のブースにて販売し、ウィルの中ではおなじみのミックスジュースなどの飲み物の販売と子供向けのゲームコーナーを作り、祭りを盛り上げていきました！私たちは、メンバーの皆さんと、販売や呼び込みさらには、商店街のスピーカーをお借りしてのマイクアピールもさせていただきました☆

去年と違うところは、特設会場にて消防車・パトカーの展示、撮影や住吉区マスコットキャラクターの我がすみちゃんの参戦、コーラスや紙芝居など子供から大人の方まで楽しめるイベントとしてパワーアップしました！

また、終わった後に、イベントをまとめてきた方から、「ウィルさんには本当にお世話になりました。ありがとう」と涙を流しながら感謝の気持ちを頂きました。ウィルとして大切にしてきた地域とのつながり作りが少しずつ形となってきたと思わずみんなに伝えてしまいました！

この祭りだけでなく、私たちがいるこの地区でこれからもいろいろな形でつながりを持ち、みんなとわくわくするようなことを探していこうと思えます！！2018年も楽しむことを大切に、いろいろなことにチャレンジしていきたいです。



\*ウィルのみんなで作った手づくりのマップです☆

## 地域での暮らし～最終章～

ここまでは、地域での生活について、一人暮らしをされている方やグループホームに住んでいる方のインタビューを交えながらお伝えしてきました。どんな方でも地域で暮らせること、そのために様々な制度や協力者を築きながら暮らしていることが伝わったかと思います。そのためには基盤の整備が必須ですが、現状はヘルパー不足、住む家不足、グループホーム不足などなかなか厳しい状況です！今回は、なぜ厳しい状況になっているかについてお伝えしたいと思います。

### 《ポイントその1：住む家不足》

身体障がいの方々が物件探しをする際、一番難航するのが住宅改修OKの家を探すことです。手すりをつけたり、畳をフローリングに変えたり、部屋の扉を外し、車いすで移動しやすくしたり、段差を解消したり、扉にリモコンキーを取り付けたりと住むための工夫が必要です。しかし、大家さんによって退去の際元に戻せるのであればいいですよ、という場合もあれば、傷をつけないでくださいと断られる場合もあります。

また障がいによって、審査が通りにくいので障がいがあると言わないで下さいと不動産会社から言われることもあり、障がい者と分かったら追い出されると思っている方もいらっしゃいます。



### 《ポイントその2：グループホーム不足》

前回の11月号でグループホームにおける個別ヘルパー利用についてお伝えしましたが、困っていることはそれだけではありません。消防法の改正により、障がい者のグループホームに必要な消防設備が強化され、重度障がい者の割合が一定以上の場合、原則としてスプリンクラー設備が必要となり、それ以外の場合も自動火災報知設備が必要とされました。たださえ、基礎報酬が低く、経営が難しい所が多い中、消防法の改正で新たな負担が増すことが問題となっています。グループホームは施設ではなく、障がい者が生活する「住まい」です。



### 《ポイントその3:ヘルパー不足》

私たちは、身の回りのことを全部自分ですることだけが自立ではないと考えています。できないことは支援者に手伝ってもらおうこと、支援者に手伝ってもらいたいことを伝えることが大切だと思っています。それが地域で暮らしていく中で必要な力となってきます。例えば、病院に行きたいけど1人では先生に伝えたいことを話せない、先生の話が分からない、道が分からなくて行けないということであればヘルパーさんと病院へ行き、先生とのやりとりを手伝ってもらおうことができます。

片付けが苦手で掃除ができない、買い物に1人で行けない、料理もしたいけど難しいという時も、ヘルパーさんと一緒に家事を行うことができます。

しかし、そのヘルパーさんが現在不足しています。特に朝や夜の時間帯は利用する人が多く、また土日も足りていないのが現状です。



### 《ポイントその4:相談支援事業所不足》

地域で生活するためには、ヘルパーさんを使ったり、グループホームに住んだり、日中みんなで過ごしたり働いたりする場所へ通ったりと福祉サービスと呼ばれるものを使います。これらを使うための手続きやこの事業所をお願いするかなど相談できる場所が相談支援センターになります。

しかし、大抵の相談支援センターは相談員が一人しかいない所が多く、一人50人ぐらい担当を持たないと運営できないようになっていています。そのため、なかなか相談支援事業所が増えず、計画相談の希望者がどんどん増え、追いついていないのが現状です。

更に今、厚労省で報酬改定チームが計画相談支援等の基本報酬について議論しており、基本報酬がいくつかが下げられるかもしれません。このことはまたはっきりと分かり次第お伝えします！

どんな障がいであっても当たり前前の生活を地域でおくれるようにするためには、地域基盤がしっかりしていないと支えることができません。まだまだ社会資源が足りないため、私たちは引き続き利用者さんの困っている声を国や行政に訴えていきたいと思ひます。



おめでとう！ありがとう！



皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も、よろしくお願ひいたします☆  
さて、去年の話題にはなりますが、ライフ・ネットワークが現在の場所で開催して11月1日で10周年を迎えました！

そこで、11月10日(金)10周年をお祝いするイベントを開きました！当日は、ライフ・ネットワークのメンバーはもちろん、ウイルのみなさん、古田理事長をはじめ各部署のスタッフ、ゆかりのある利用者さんもお祝いに駆けつけてくれました☆

この日、最初のプログラムは、ライフ10周年ふりかえりクイズ！  
懐かしの写真を見ながら、ライフにまつわるクイズが出題されました☆

そして、お楽しみの昼食タイム☆  
利用者さんと相談して決めた、この日のお弁当は  
黒毛和牛のハンバーグステーキ！



そして、このお弁当、10周年の「10」のような配置になっているという素敵ポイントもありました。  
美味しいお弁当を食べながら歓談タイムへ…

昼食もひと段落した頃、まいどのスタッフによる組み体操の出し物が始まりました！

「飛行機」「海賊船」など大技の連発に会場から歓声があがります。

ちなみに右の写真は、「サポテン」という技だそうです☆

そして、イベントは後半へと移ります♪



ふるたりじちよう いわ あと みな いわ  
 古田理事長からお祝いコメントをいただいた後は、ウイルの皆さんによるお祝いのダンス・パフォーマンス♪  
 かいじょ からだ うご わっき つつ  
 会場のみみんなも体を動かして熱気に包まれました☆



あと りようしゃ まんざい ひろう く だ  
 その後は、ライフ利用者リーダーによるトリオ漫才がVTRで披露され、練り出されるシュールなボケの  
 せかい かいじょ ばくしょう くしょう も  
 世界に、会場から爆笑・苦笑が漏れました\(-o-)/

そしてイベントは、最後のプログラム「ライフ・ネットワークの誕生日ケーキを作ろう！」へ突入！

うえ いろ  
 スポンジケーキの上に、クリームを塗り、色とりどりの  
 おも おも はいち  
 フルーツやマーブルチョコレートを思い思いに配置して  
 かく こせいゆた たんじようび  
 各テーブルに個性豊かなライフの誕生日ケーキが  
 できあ  
 出来上がりました☆



さいご うえ の ひ つく たいがっしょう  
 最後に「10」のロウソクを上に乗せて火を点け、みんなでHappyバースデーを大合唱♪

いっせい ひ ふ け ま ししよく  
 一斉に火を吹き消して、お待ちかねの試食タイムとなりました☆

おい えがお  
 美味しいケーキに、みんな笑顔♪

つく しやうねん  
 みんなで作ってきたライフ10周年。

ねが  
 これからも、よろしくお祈いします！

